

# フォレストニュース

植林が地球を救う

平成25年(2014)1月10日

No. 73

発行 高津啓洋



## 謹賀新年



# 高麗山フォレストツアー



「なんでヒサカキを飾るんだろう？」と質問に対して、“歩く植物図鑑”の異名をもつ昌斗君（主催者の弟）が、すかさず「神様の木だからですよ。」と答える。境内に入ると、まずは1人ずつ並び高来神社を参拝しました。高来（たかく）神社の由緒が掲載された看板の前に集まり解説。

1月3日箱根駅伝も復路、平塚でも白熱した応援が注がれている中、少しの曇り空でも暖かい新年のよき日に、湘南支部として初めて「高麗山(こまやま)フォレストツアー」が始まりました。

今回は、自然観察指導員の松田さんがゲストでいらして下さり、色々な質問や植物名が飛び交う、ハイレベルなツアーとなりました。初対面の方もいらしたので、まずは神社入り口で、お互いの自己紹介をしました。

早速、神社の鳥居についている「ヒサカキ」に目が行きました。

「7世紀高句麗から亡命した王族がここに社をつくり、後に埼玉県の日高市の高麗地方へ移動したんですね。」

歴史に思いを馳せつつ、す



ナギの木と昨年8月の時のナギの木の実

ぐ裏にある珍しい針葉樹の「ナギの木」に注目。

葉の特徴を確認し、落ちて乾燥した実を探し拾って観察しました。8月に来た時は沢山実が落ちていた場所です。山道では、雑木林が時間をかけて元の姿に戻ろうとしている「照葉樹林帯における二次遷移の様子」を目にすることができました。参加者は斜面を下から眺めながら、自然の森のシステムを学びました。

地面を這いつくばりそうになるくらい真剣に植生を観察していると、元気なおじさん・おばさんグループの方が「何やってるの？」と声をかけてきました。「この土地は、本来どんな森だったのかを調べているんです。この辺りは、カシノキやシイノキに覆られてい

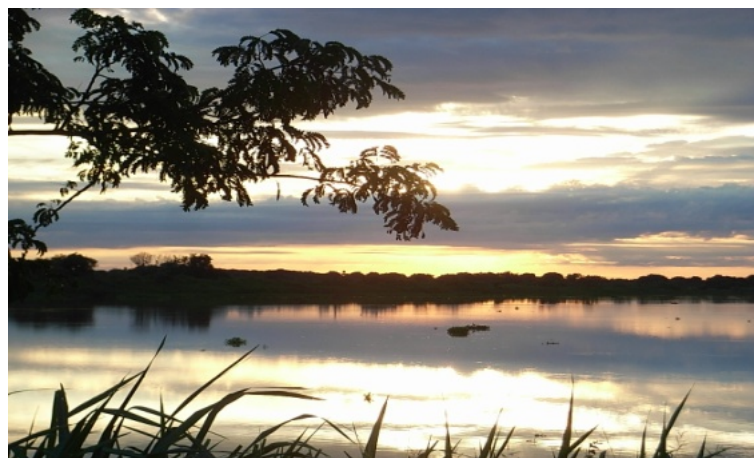
たようです。」と話すと、「へー」と関心して行かれました。

ベンチがある休憩ポイントでは、各自持参したおやつを出し合って食べました。

写真を撮ってもらおうと声を掛けた、通りすがりのおばあさんが「高麗山はもう100回くらい登っているわ。色々なコースがあっただけ楽しいのよ。四季折々の自然を楽しめるのよ。また春に登りにきたらいいよ。」出会いに教わる面白さです。

終了後は、高麗山を眺めながらマクドナルドでお茶会をしました。感想を聞き合い、自然に対する考えを共有し深めることができました。そして夢と目標を語り合った。盛り上がり、2時間近く話しをして解散しました。(奥平)

# レダも元気に新年の日の出



昨年、一年間様々な支援に感謝します。また、フランコ大統領を迎えて、ニームの植樹をし、ニームの木が脚光を浴びています。さらに、今年は、昨年洪水の被害を受けたところの整備をしていきます。(伊達)